

## 持続可能な開発目標の機会と挑戦

SDSN Japan 理事 / 国連大学上級副学長  
沖 大幹



2015年9月に国連総会の場において全会一致で採択された持続可能な開発目標(SDGs)は国内外の市民社会、企業に徐々に浸透しつつあります。

途上国への開発援助に重点が置かれていたミレニアム開発目標(MDGs)に対し、先進国の国内格差も視野に置き、誰一人取り残さず「我々がそうであって欲しいと願う未来」を実現しようというSDGsは21

世紀の大義名分であり、その実現への取り組みに対して、誰一人文句は言えません。強いて指摘するならば、SDGsでは物質的、現世的な御利益の追求に重点が置かれていて、精神的な豊かさや心の安寧が目標として明確には掲げられていません。これに関しても、Goal3や「持続可能な開発のための2030アジェンダ」本文に繰り返し出てくる「well-being(幸福度)」という言葉や「文化的多様性の尊重」にそうした非物質的な価値の追求が集約されているとみなすべきでしょう。

また、過去の推移に照らして実現可能な目標が掲げられていたMDGsとは異なり、SDGsでは「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」といった理想主義的な目標が設定されており、同じ2015年に採択された気候変動対策に関するパリ協定と同様、その達成にはかなりの困難が想定されます。

そうした中で、鍵を握っているのが民間企業によるSDGsへの取り組みです。MDGs以前に発足した国連グローバルコンパクト(UNGC)が持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD)などと共により早くSDGsコンパス(指針)を発表しているように、先進的な企業群の取り組みは一般市民社会よりもむしろ先を走っています。SDSN JapanによるSDGsダイアログ・シリーズでも2017年4月に『グローバル企業と2030アジェンダ』を国連大学ウ・タントホールで開催していただき、300名近い方々がお集まりくださいました。

持続可能な開発という概念は環境分野から生まれたためか、この会議でも半分は各企業のCSR部門の方々でしたが、残りの半分は企画運営室など、経営の主流部局の方でした。グローバルなビジネスの共通言語として、ESG(環境・社会・企業統治)投資に対して集約すべき非財務情報一覧として、あるいは企業価値を毀損しないリスクマネジメントのためのチェックリストとしてSDGsは大いに役立つことと思われ、SDGsへの取り組みが慈善事業や寄付行為などのコストではなく、将来への投資として経営に統合されていくのが望ましいと期待されます。人の命とは違って、寿命に限りがない企業が遠い将来も視野に入れるのが当たり前時代の時代が来ているのだと思います。

環境、経済、社会を包括的・持続的に発展させて人類のWell-beingの向上に貢献しているSDSN Japanに私も微力ながら貢献させていただきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### パートナーシップの在り方についてバンコクでワークショップを行いました

2017年3月28日、バンコクにて、国連アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP)及び国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)の共催により、「アジア太平洋におけるSDGsの実施のためのマルチステークホルダー・パートナーシップに関するワークショップ」を開催しました。本ワークショップは、当地で開催された「持続可能な開発に関するアジア太平洋フォーラム(APFSD)」に併せて行われ、東南アジア諸国の行政官及び研究者、市民社会、企業及び国際機関の代表者の参加を得て、多様な主体による効果的なパートナーシップの在り方について議論しました。<http://sdsnjapan.org/workshop-multi-stakeholder-partnerships-in-asia-and-the-pacific/>



### 企業をテーマにSDGダイアログを開催しました

2017年4月20日、UNU-IASとの共催により、「SDGダイアログ：グローバル企業と2030アジェンダ」を開催しました。本イベントでは、昨今の社会情勢の大きな変化を踏まえ、SDGsが指し示す社会のあるべき姿に照らした、新しい企業経営の在り方について議論しました。ユニリーバ、トヨタ、イオン、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)、CDPの代表者などが登壇し、企業経営におけるSDGsの重要性、投資の観点から見たSDGs、そして日本企業の課題に関して活発に意見が交わされました。

<http://sdsnjapan.org/sdg-dialogue-global-companies-and-the-2030-agenda/>

